

[STEP10] ～札を覚えよう(その9)～

《あ》

「札を覚えよう」も遂に最終段階に来た。残すは、「あ」で始まる札だけである。まずは、詠札をよく見較べて、二字めの音(字)の同じ札をペアにして、決まり字を探ってみよう。もう、ここまで来た皆さんならわかる筈だが、念のため決まり字を記しておこう。「あはち」「あはれ」、「あらし」「あらざ」、「あきか」「あきの」、「あまの」「あまつ」、「ありあ」「ありま」、「あさち」「あさぼらけあ」「あさぼらけう」、「あし」「あひ」「あけ」の以上十六枚である。「あ」札は二字めを取って、「はらきまりさしひけ」と覚える。「はらきまり」が三字決まり二枚ずつの「とも札」五組十枚、「さ」が三字決まり一枚と大山札一組二枚の計三枚、「しひけ」が二字決まり各一枚の三枚という内訳である。特に「あさ」の二字で始まる三枚の札は、決まりの変化を追う時に注意しよう。また、「あ」札の場合は、残り一枚の一字決まりになっていることを忘れがちであるから、他の十五枚が出たことを頭の中で確認しておかなければならない。ただ一枚出た二枚出たと数えるよりは、「はらきまりさしひけ」のそれぞれの音を頭の中で消していってほうがよいと思う。

それでは、詠札と取札をペアにして、取札を見ただけで決まり字が言えるように繰り返し覚えてほしい。これで一応百枚の札を全部暗記したことになる。長い間ご苦労さまでした。

㊦ 決まり字・下の句対照表 ㊦

《あ》

「あはち」 ……いくよねさめぬすまのせきもり
 「あはれ」 ……みのいたつらになりぬへきかな
 「あらざ」 ……いまひとたひのあふこともかな
 「あらし」 ……たつたのかわのにしきなりけり
 「あきか」 ……もれいつるつきのかけのさやけさ
 「あきの」 ……わかころもてはつゆにぬれつつ

「あまつ」 ……をとめのすかたしはしとどめむ
 「あまの」 ……みかさのやまにいてしつきかも
 「ありあ」 ……あかつきはかりうきものはなし
 「ありま」 ……いてそよひとをわすれやはする
 「あさち」 ……あまりてなとかひとのこひしき
 「あさぼらけあ」 ……よしののさとにふれるしらゆき
 「あさぼらけう」 ……あらはれわたるせせのあしるき
 「あし」 ……なかなかしよをひとりかもねむ
 「あひ」 ……むかしはものをおもはさりけり
 「あけ」 ……なほうらめしきあさぼらけかな

㊦ 札音 (6) ㊦

～間違えやすい取札(その2)～

取札の最初の数字が、別の札の上の句と似ているために、取札の文字を読んでも、別の札の上の句が詠まれた時、思わず手を出してしまうという札のペアがある。くれぐれも間違えないよう注意してほしい。

- ☆ (上の句) ……ありあけのつれなくみえしわかれより (あかつき…)
- ☆ (間違える取札) ……ありあけのつきをまちいてつるかな (いまこ)
- ★ (上の句) ……あはれともいうべきひとはおもほえて (みの…)
- ★ (間違える取札) ……あはれことしのあきもいぬめり (ちぎりお)
- ☆ (上の句) ……しのぶれどいろにぞりけりわがこひは (ものや…)
- ☆ (間違える取札) ……しのふることのよはりもそする (たま)

以上の三組が代表的なもので実例もわりとあるが、他のケースでも実際にあったものを紹介しておこう。

- ◆ (上の句) ……はなさそふあらしのにわのゆきならで (ふりゆく…)
- ◆ (間違える取札) ……はなそむかしのかにほひける (ひとは)
- ◇ (上の句) ……よをこめてとりのそらねははかるとも (よに…)
- ◇ (間違える取札) ……よをおもふゆゑにものおもふみは (ひと)

㊦ 札音 ㊦